



ニッポン・ニュー・マーケット「ヘラクレス」

平成 22 年 3 月 5 日

各 位

福岡県福岡市中央区薬院一丁目1番1号
株式会社 アイフリーク
代表取締役社長 永田 万里子
(コード番号：3845 大証ヘラクレス)
問い合わせ先 管理担当取締役 橋本 裕
電話番号 092-738-3800 (代表)
U R L <http://www.i-freek.co.jp/>

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 5 月 14 日の決算発表時に公表した平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日 ～ 平成 22 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

- 1 平成 22 年 3 月期連結業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日 ～ 平成 22 年 3 月 31 日）
(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	3,770	127	128	101	4,658円 61銭
今回修正予想(B)	3,255	59	67	25	1,148円 79銭
増減額(B-A)	△515	△68	△61	△76	—
増減率(%)	△13.7	△53.5	△47.7	△75.2	—
(ご参考) 前期実績(平成21年3月期)	3,314	104	88	△142	△6,415円 49銭

2 修正の理由

日本国内における景況は、依然厳しい状況にあり、当社の業績にも大きな影響を与えております。特に、一般消費者のサービス、商品の買い控え等が続き、厳しい経営環境となりました。

モバイルコンテンツ事業におきましては、クリスマス・年末年始の繁忙期に重点的な販促施策を実施し、新たな会員獲得を推し進めた結果、第4四半期においては、利益貢献に繋がっておりますが、期初来の事業投資を全て回収するには来期まで時間を要する状況となっております。

また、Eコマース事業におきましては、長引く国内の景況悪化の中で、商品企画力の強化を図っておりますが、一部戦略商品の投入遅れもあり、収益貢献が来期にずれ込む予定となっております。

このように、第3四半期連結会計期間まで各種施策の実施も含め、利益増大を図りましたが、長引く景況悪化の影響や一部収益の来期ずれ込み等により、期間予想を下回る見通しとなりました。そのため、本日取締役会にて、上記のとおり平成 22 年 3 月期連結業績予想数値の修正を決議いたしました。

3 今後の見通し

今後の見通しにつきまして、進行中の第4四半期連結会計期間の業績進捗は順調に推移しております。

(参考) 第4四半期連結会計期間の業績見通し(平成22年1月1日～平成22年3月31日)
(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
予想値	740	120	119	109

(注) 業績の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後様々な要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる場合がございます。

以 上